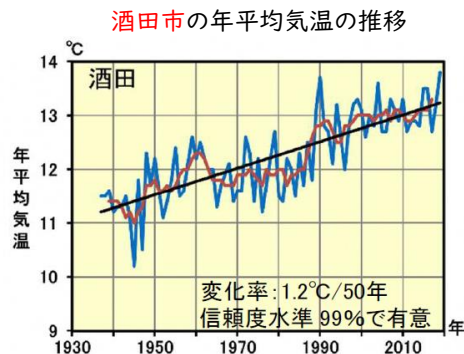


本県における洋上風力発電事業の 取り組み状況について

令和7年6月29日

山形県環境エネルギー部
エネルギー政策推進課

1 気候変動対策は待ったなし



(出典) 仙台管区気象台「東北地方の気候の変化」

- ・年々深刻化する夏の酷暑
- ・繰り返し見舞われている豪雨災害
「令和2年7月豪雨」「令和4年8月豪雨」
「令和6年7月豪雨」

⇒ 気候変動対策は待ったなし

県内では、酒田市の年平均気温は
50年当たり1.2°C上昇しています。



令和6年7月豪雨での荒瀬川にかかる
前山橋付近



令和6年7月豪雨で越水した月光川
(遊佐町吉出)



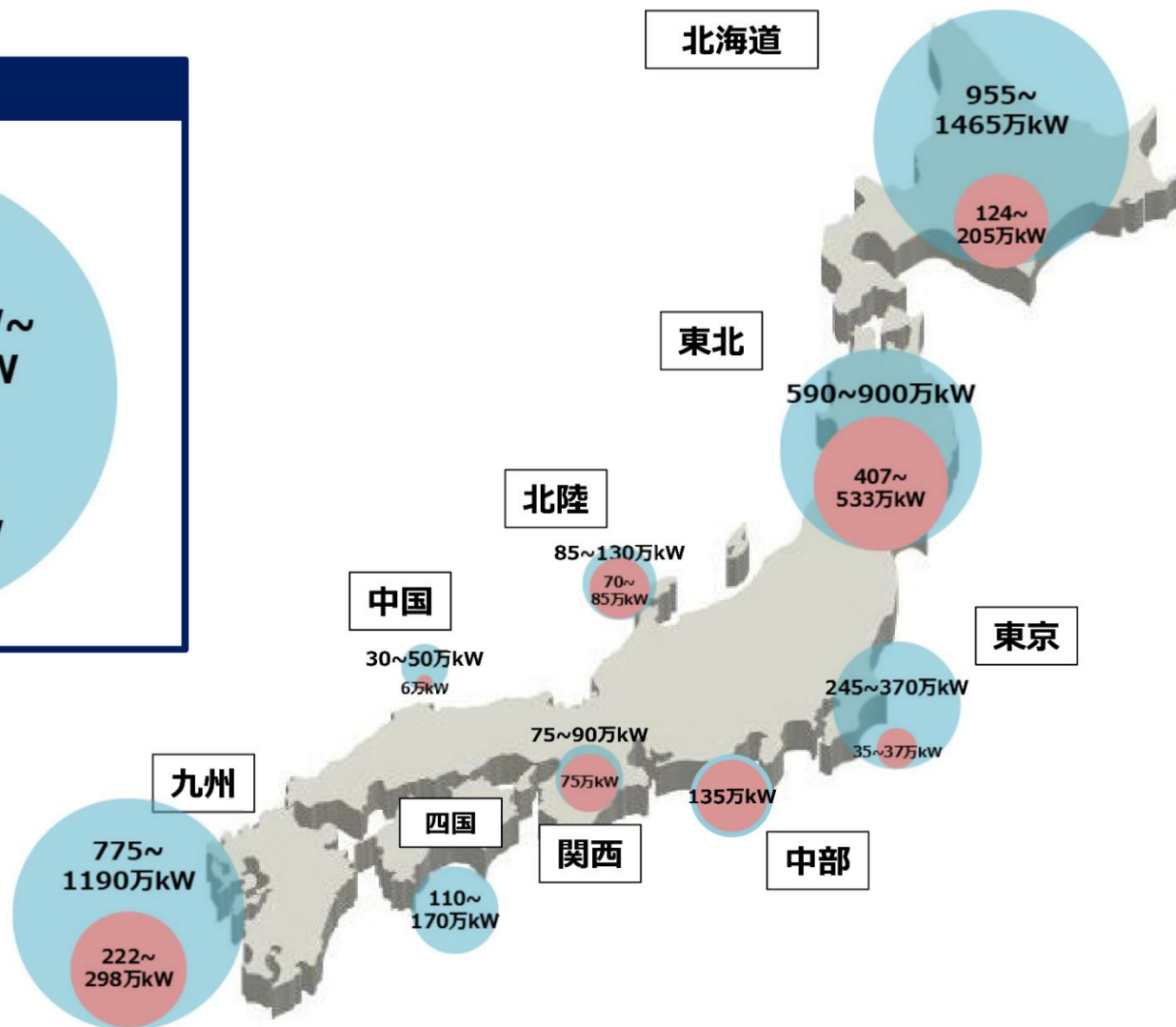
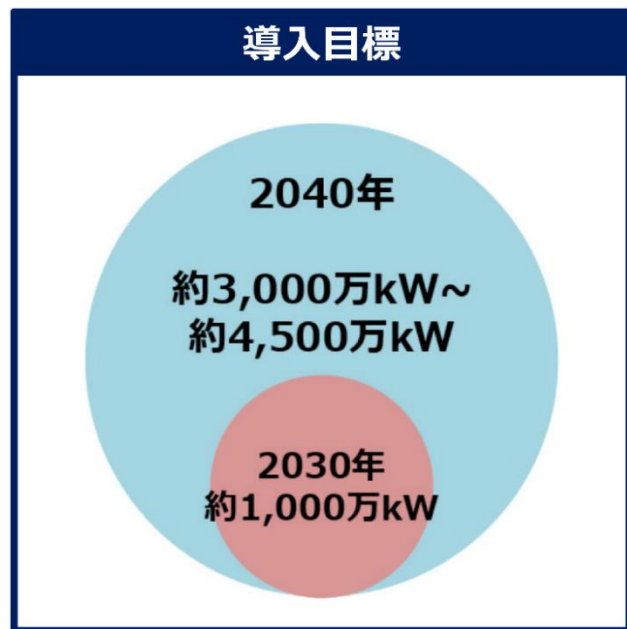
令和6年7月豪雨で氾濫した最上川
(出典: 国土交通省東北地方整備局)

2 「ゼロカーボンやまがた2050」と「脱炭素社会づくり条例」

- 令和2年8月 「ゼロカーボンやまがた2050」宣言
⇒ 2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す
- 令和5年3月 「山形県脱炭素社会づくり条例」制定
(愛称: さくらんぼ未来の地球を守る条例)
⇒ 県を挙げて2050年までの脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進

3 山形県エネルギー戦略(平成24年3月策定: 令和6年9月改定)

- 山形県エネルギー戦略の再エネ開発目標 153.0万kW〔令和12年度(2030年度)〕
- 令和5年度末までの再エネ開発量(累計) 72.0万kW(稼働分+計画決定分)
- 再エネの大規模事業の県内展開促進として、洋上風力発電の導入を位置付けて取組みを推進



※2030年については、環境アセス手続中（2020年10月末時点・一部環境アセス手続きが完了した計画を含む）の案件を元に作成。

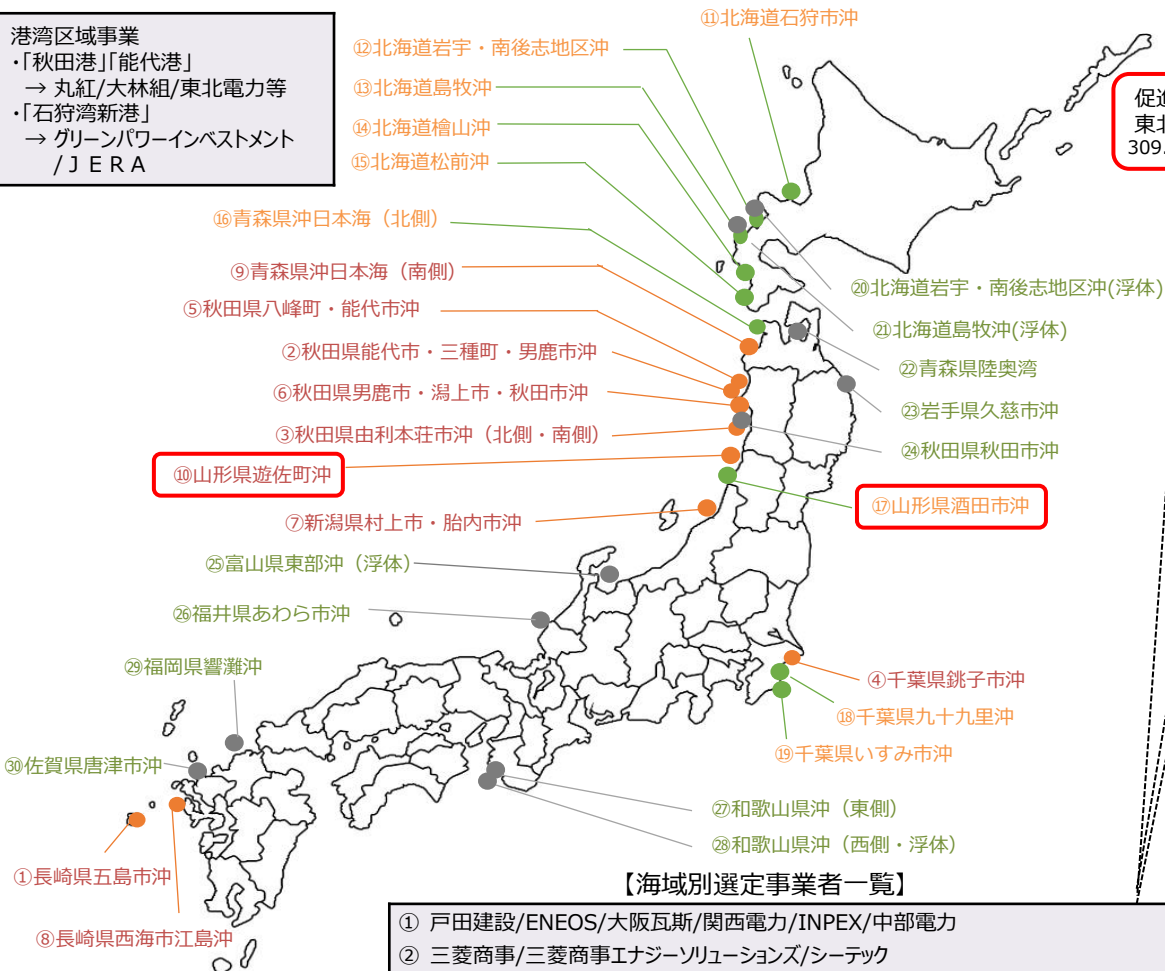
※2040年については、NEDO「着床式洋上ウインドファーム開発支援事業（洋上風力発電の発電コストに関する検討）報告書」における、LCOE（均等化発電原価）や、専門家によるレビュー、事業者の環境アセス状況等を考慮し、協議会として作成。なお、本マップの作成にあたっては、浮体式のポテンシャルは考慮していない。

全国における区域の状況



促進区域・有望区域等の指定・整理状況(令和7年1月時点)

港湾区域事業
・「秋田港」「能代港」
→ 丸紅/大林組/東北電力等
・「石狩湾新港」
→ グリーンパワーインベストメント/JERA



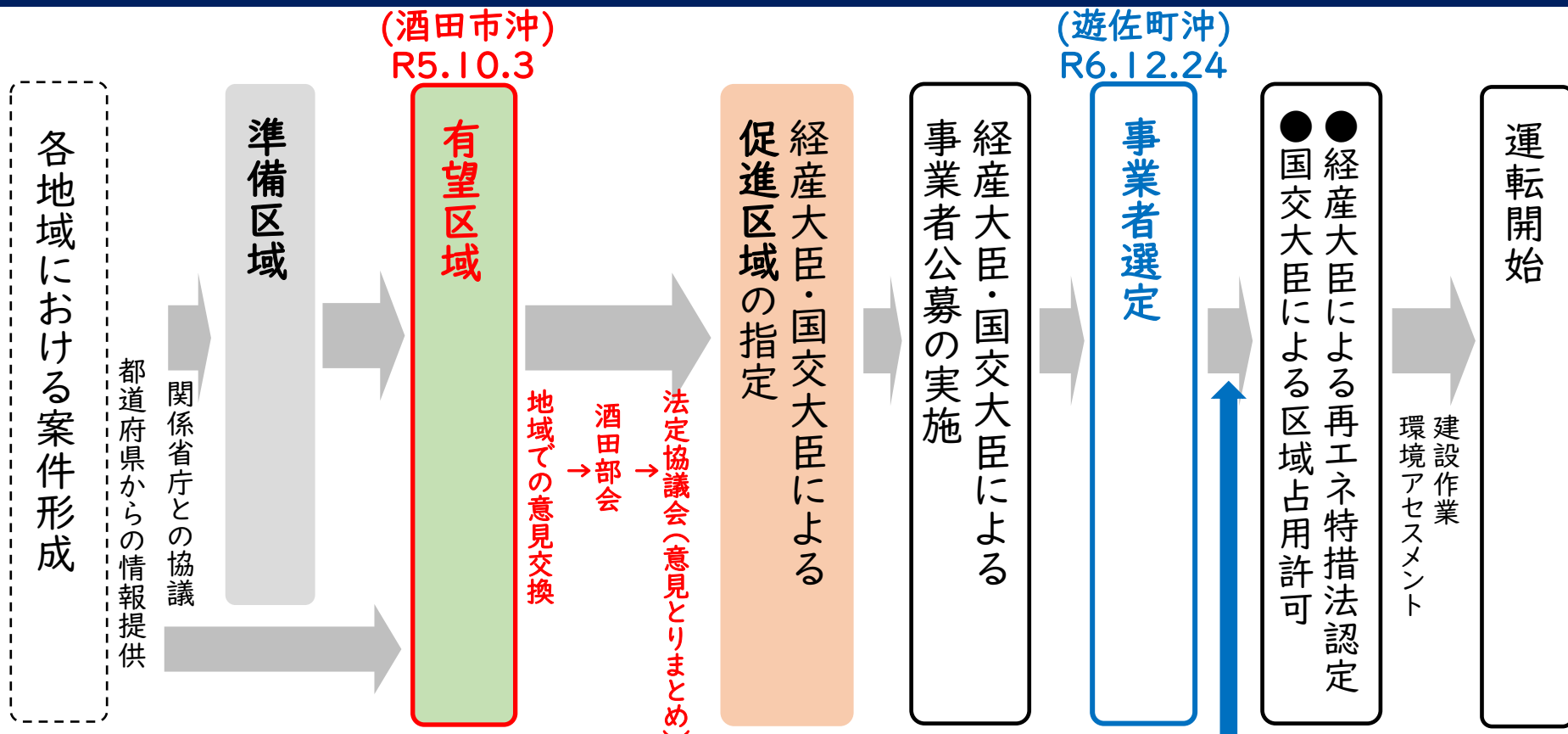
【海域別選定事業者一覧】

- ① 戸田建設/ENEOS/大阪瓦斯/関西電力/INPEX/中部電力
- ② 三菱商事/三菱商事エナジーソリューションズ/シーテック
- ③ 三菱商事/三菱商事エナジーソリューションズ/ウェンティ・ジャパン/シーテック
- ④ 三菱商事/三菱商事エナジーソリューションズ/シーテック
- ⑤ JRE/イベルドロウ/東北電力
- ⑥ 伊藤忠商事/JERA/電源開発/東北電力
- ⑦ 三井物産/RWE/大阪瓦斯
- ⑧ 住友商事/東京電力リニューアブルパワー
- ⑨ JERA/グリーンパワーインベストメント/東北電力
- ⑩ 丸紅/関西電力/BP Iota Holdings Limited/東京瓦斯/丸高

【凡例】
● 促進区域 ● 有望区域 ● 準備区域

区域名	万kW
第1ラウンド	
①長崎県五島市沖(浮体)	R3.6.11 事業者選定 1.7
②秋田県能代市・三種町・男鹿市沖	R3.12.24 事業者選定 49.4
③秋田県由利本荘市沖	R3.12.24 事業者選定 84.5
④千葉県銚子市沖	40.3
第2ラウンド	
⑤秋田県八峰町能代市沖	R6.3.22 事業者選定 37.5
⑥秋田県男鹿市・潟上市・秋田市沖	R5.12.13 事業者選定 31.5
⑦新潟県村上市・胎内市沖	68.4
⑧長崎県西海市江島沖	42
第3ラウンド	
⑨青森県沖日本海(南側)	R5.10.3 促進区域の指定 61.5
⑩山形県遊佐町沖	45
⑪北海道石狩市沖	91~114
⑫北海道岩手・南後志地区沖	R6.12.24 事業者の選定 56~71
⑬北海道島牧沖	44~56
⑭北海道檜山沖	91~114
⑮北海道松前沖	25~32
⑯青森県沖日本海(北側)	30
⑰山形県酒田市沖	R5.10.3 有望区域への整理 50
⑱千葉県九十九里沖	40
⑲千葉県いすみ市沖	41
⑳北海道岩手・南後志地区沖(浮体)	
㉑北海道島牧沖(浮体)	
㉒青森県陸奥湾	
㉓岩手県久慈市沖(浮体)	
㉔秋田県秋田市沖	
㉕富山県東部沖(浮体)	
㉖福井県あわら市沖	
㉗和歌山県沖(東側)	
㉘和歌山県沖(西側・浮体)	
㉙福岡県響灘沖	
㉚佐賀県唐津市沖	

再エネ海域利用法に基づく区域指定・事業者公募の流れ



促進区域の要件(再エネ海域利用法(抜粋))

- 自然的条件が適当で、発電設備出力が相当程度見込まれること
- 航路及び港湾の利用等に支障を及ぼさないこと
- 発電設備の設置や維持に必要な人員や物資の輸送に関し、港湾との一体的な利用が可能であること
- 系統への接続の確保が適切に見込まれること
- 漁業に支障を及ぼさないことが見込まれること
- 他法令で指定された区域や水域と重複しないこと

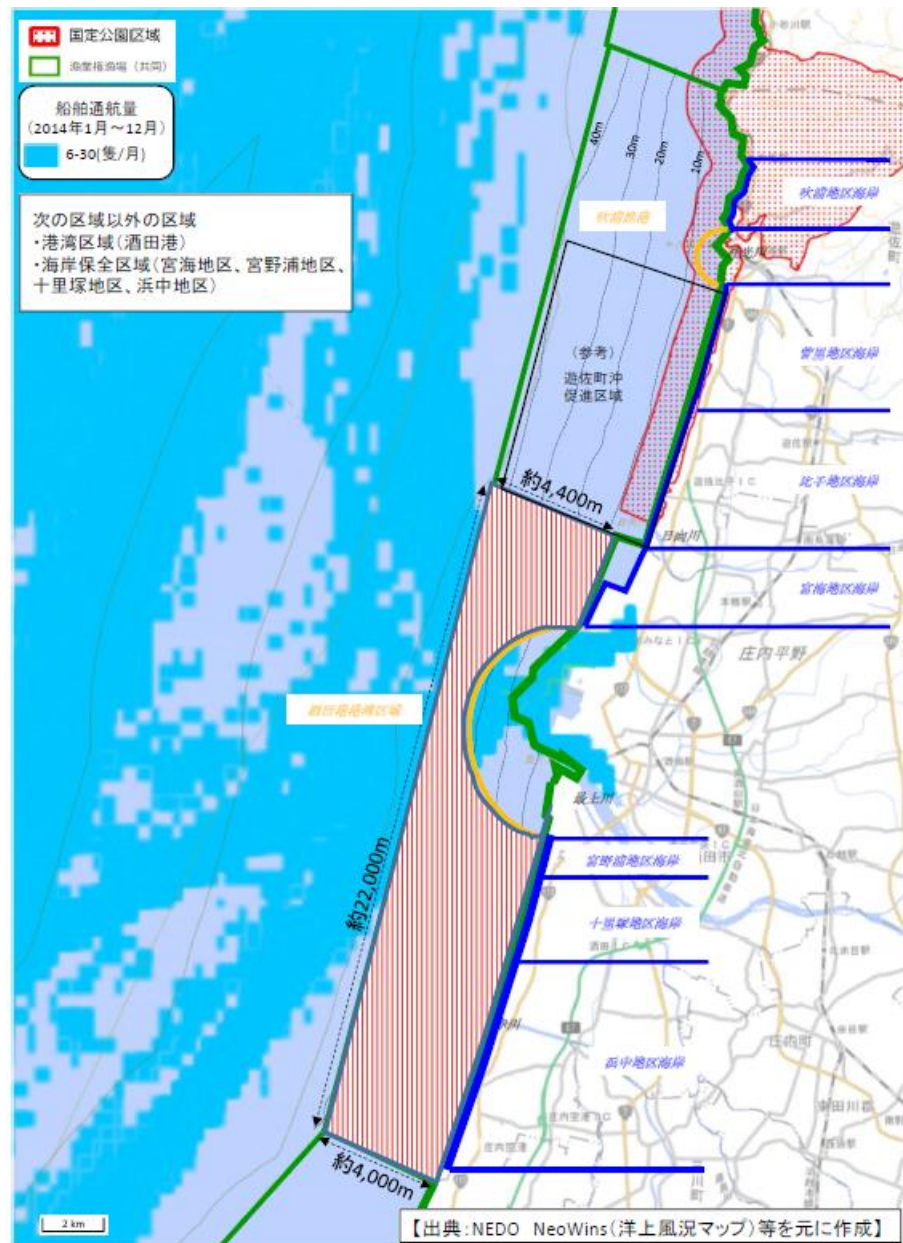
事業者選定後の地元での主な取組み

- 住民説明会(全体(R7.3)、地区別(R7.7))、海底地盤調査(R7.4~)
- 地域共生策(海面漁業、内水面漁業・鮭孵化、地域)に係る調整
- 漁業影響調査に係る調整
- 遊佐町沖洋上風力産業振興プラットフォーム(R6.7設立、事務局:遊佐町商工会。最新情報やマッチング機会の提供など)による勉強会の開催など

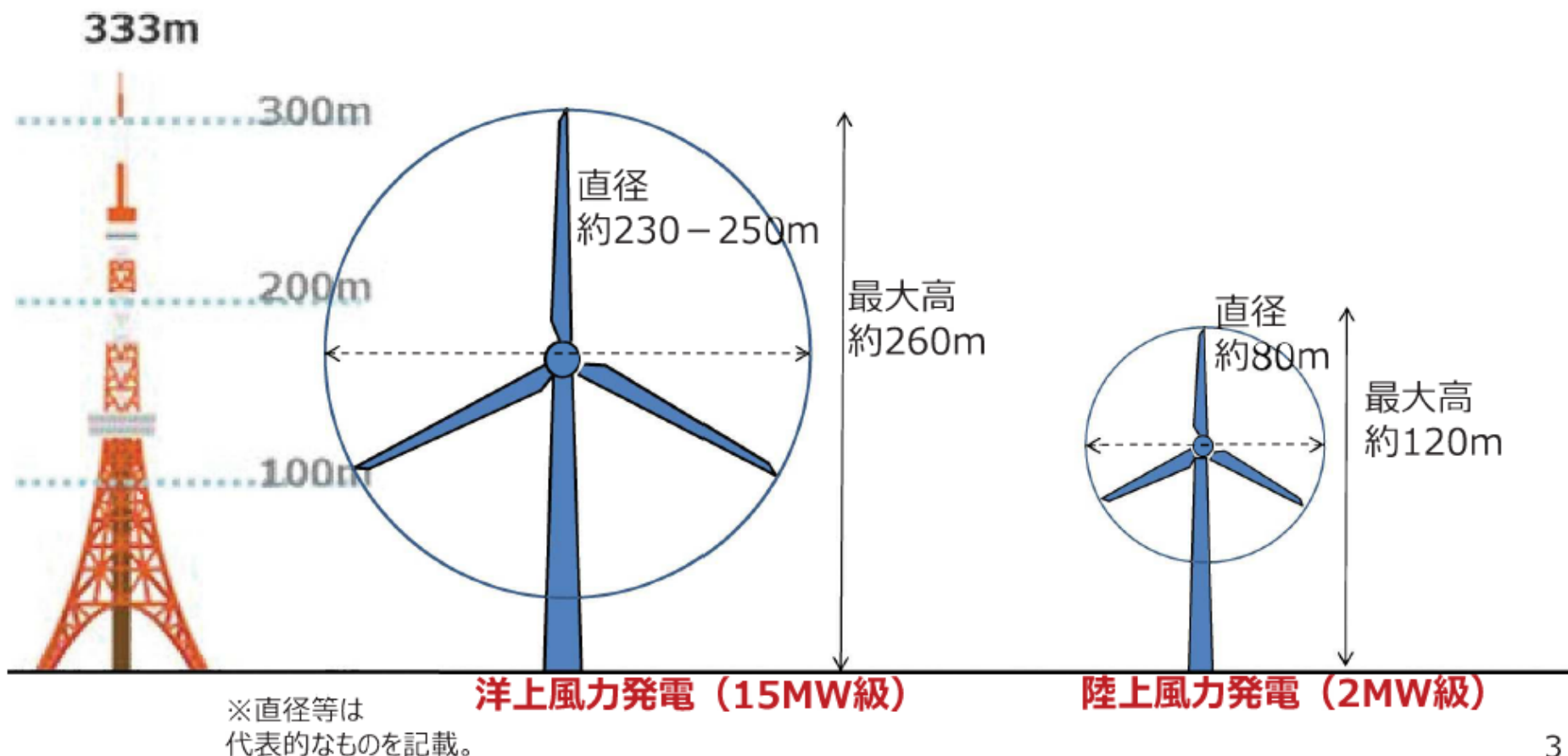
- ・酒田市沿岸、
共同漁業権漁場（海共2号）内
- ・酒田港の港湾区域を除く範囲
- ・面積：約8,800ha
- ・最大受電電力：50.4万kW

（参考）
遊佐町沖促進区域

- ・遊佐町沿岸、
共同漁業権漁場（海共2号）内
- ・漁港の区域及び海岸保全区域を
除く範囲
- ・面積：約4,100ha
- ・最大受電電力：45.0万kW
- ・洋上風力の設置、維持管理に
利用される港湾（基地港湾）
：酒田港



1. 陸上風力: 大型化が進むものの、現状2～3MW級が主流。
2. 洋上風力: 現状10～15MW級が主流。



一洋上風力発電事業を通じた遊佐地域の将来像一

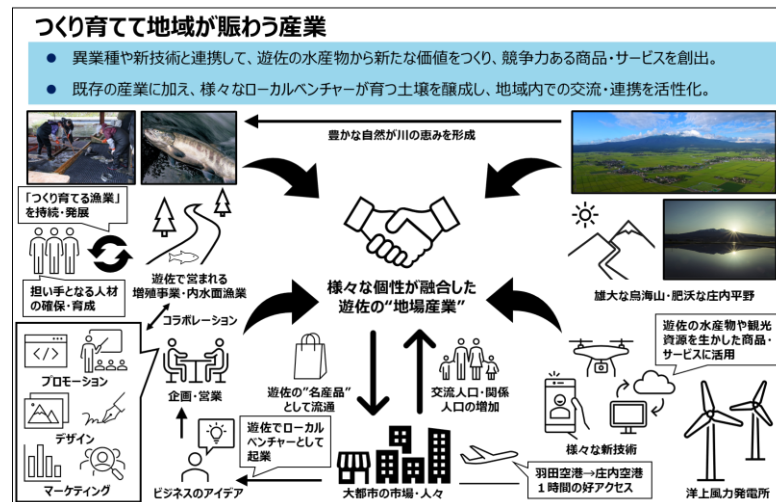
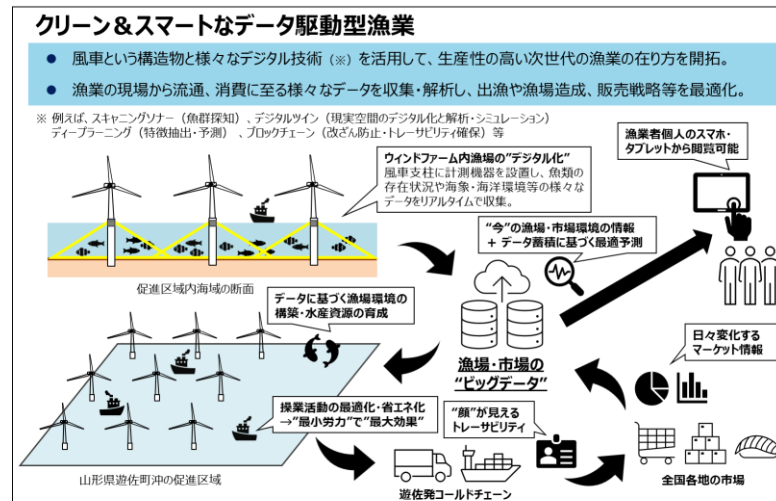
- 海面漁業の持続可能な生産基盤と**水産業の成長産業化**、川の恵が次世代にも持続し**地域とともに成長・発展する内水面漁業・生産活動**を実現。
- 若者が自発的に地元へ定着し、**地域外からも遊佐への移住・定住**を選択肢に入れるような、**持続可能で魅力あるまちづくり**を実現。

◎漁業協調策

- ①操業環境の変化に対応した「付加価値の高い稼げる漁業」の実現 → **クリーン&スマートなデータ駆動型漁業**
- ②良好な内水面環境等を生かした「つくり育てる漁業」の持続と発展 → **つくり育てて地域が賑わう産業**

◎地域振興策

- ①地域における新産業の育成、関連する雇用確保
- ②電力の地産地消
- ③地元での環境教育・人材育成
- ④観光振興
- ⑤港湾・漁村地域の活性化
- ⑥安全・安心な暮らしの実現、自然・海洋環境への保全



出典：山形県遊佐町沖における協議会 第4回 資料8（協調策・振興策の参考イメージ）
 ※上記は参考イメージであり、事業者の提案がこの通りの内容になることを意味するものではない。
 実際に実施する内容は、選定事業者の提案を基に別途協議による。

酒田市沖の案件形成を進めるうえでの議論のポイント



合意形成

⇒ 意見とりまとめ(地域の将来像)

法定協議会

協議会構成員:

国、県、市、漁業関係者

学識経験者

(事業者(選定後に参加))

意見反映

全体会議

酒田部会

部会構成員:

地域住民※1、漁業関係者、

有識者、経済団体※2、行政機関

※1 自治会長、コミュニティ振興会長

※2 酒田商工会議所、酒田ふれあい商工会

意見反映

漁業者

住民

経済界

地域メリット ⇒ 最大化

- 市民の安全安心、くらしの利便性の向上にどうやってつなげることができるか
- 洋上風力発電を通してどのように産業の活性化につなげることができるか
- 酒田港を含め、どのように街の賑わいや観光振興につなげることができるか

など

不安・懸念 ⇒ 最小化

- 漁業への影響は大丈夫なのか
- 音による健康影響や地震・津波対策は大丈夫なのか
- 鳥類、海生生物、景観等への影響をどう最小化するか
- 酒田港の航路の安全や庄内空港の航空へ影響が出ないようにする など

概 要

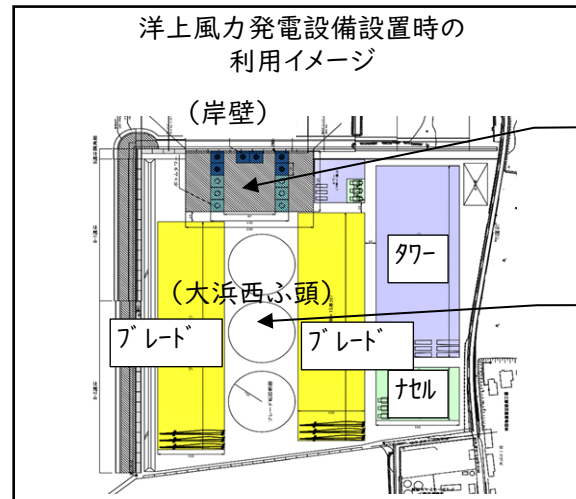
- 酒田港では、海洋再生可能エネルギー（洋上風力）発電の導入促進を図るため、洋上風力発電に必要な発電設備の建設や維持管理の拠点となる「基地港湾」の指定（R6.4月）を受け、整備事業を進めています。（期間：R6～R9年度）



事業内容

- ① 波除堤
 - ・ 荷役作業の安全確保のための波除堤整備
- ② 大浜西ふ頭
 - ・ 発電設備の保管に必要なふ頭用地整備
- ③ 岸壁及び航路・泊地
 - ・ 国直轄事業による岸壁等の工事
- ④ 高砂埋立護岸(関連事業)
 - ・ 浚渫土砂を受け入れる埋立護岸

発電事業者への
貸付料 255億円
【①～③】
国への支払額 100億円
県への支払額 155億円



事前組立・資機材搬出入エリア

洋上風力発電部材保管エリア

地域のトピック① 酒田市十里塚風力発電所の電力を 市立小中学校などへ供給

参考

INFORMATION

ニュース

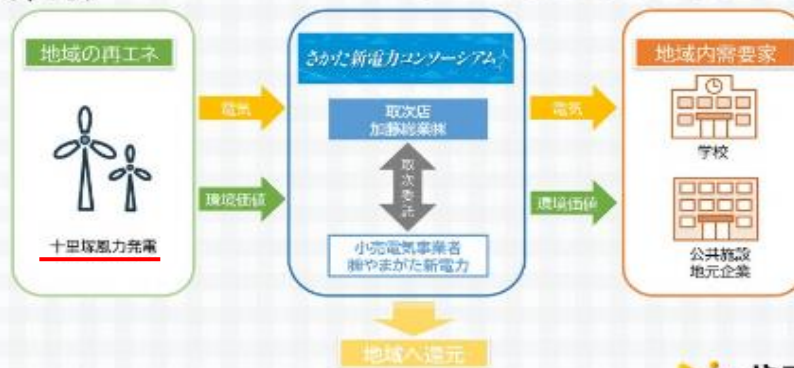
地域経済の未来に向けて

『さかた新電力コンソーシアム』構成員として支援開始
酒田市様が実施した公募型プロポーザル審査を経て、当社株主である加藤総業様が主体となる『さかた新電力コンソーシアム』の構成員として、電力の地産地消、脱炭素、そして地域経済の循環を目指した取組を開始致しました。

2025年4月3日

さかた新電力コンソーシアム

- 代表事業者：加藤総業株式会社
電気販売の取次業務（営業、契約、請求）
- 構成員：株式会社やまがた新電力
小売電気業務
（再エネ調達、供給、需給管理）
- 事業スキーム



やまがた新電力
Yamagata Power Supply Co., Ltd.



ymgt.ps ・ フォローする

...



ymgt.ps 9週間前

「さかた新電力コンソーシアム」が動き出しました！

新年度を迎え、4月1日から酒田市立小中学校への電力供給を開始いたしました。

今回は、当社株主である加藤総業様が主体となる「さかた新電力コンソーシアム」の構成員として、電力の地産地消、脱炭素に加えて地域経済の循環を目指した取組です。

地域の電力地産地消と脱炭素と言う“社会的価値”と共に、地域課題の解決に繋がる還元と言う“経済的価値”を創出することで、地域の未来に向けた取組となるよう加藤総業様と共に進めて参りたいと考えています。

#酒田市 #さかた新電力コンソーシアム
#加藤総業 #やまがた新電力 #地域新電力 #脱炭素



いいね！32件
4月3日

ログインすると「いいね！」やコメントができます。

地域のトピック② 洋上風力関連需要を見据えたホテル建設 (酒田市 パイレーツビル跡地)

参考



東証プライム | 8934 アクセス お問い合わせ お1

サンフロンティアについて 事業内容 株主・投資家情報 サステナビリティ

トップ > 「たびのホテルlit酒田」工事着工のお知らせ

2025年05月27日 ホテル

「たびのホテルlit酒田」工事着工のお知らせ

シェアする

ポスト

「たびのホテルlit酒田」工事着工のお知らせ～ホテルを起点に酒田の観光やビジネスを活性化。中心市街地に新たな魅力と賑わいを～

酒田市は東京羽田空港から空路1時間に位置し、人口10万人弱を有する庄内地域の鶴岡市と並ぶ中心都市です。鳥海山や飛島をはじめとするジオパークにも指定される豊かな自然に囲まれ、日本有数の穀倉地「庄内平野」で育まれた良質な米や多彩な農産物、そして日本海の新鮮な海の幸に恵まれた地域です。江戸から明治時代にかけては、大阪と北海道を結ぶ北前船の寄港地として栄え、上方文化と融合した舞妓や独自の食文化が今もなお息づいています。また、環日本海経済圏の物流拠点である酒田港周辺には工業団地が広がり、さらに遊佐町沖や酒田市沖での洋上風力発電事業の展開により、国指定の海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾として現在工事が進行中であり、新たなエネルギー産業の拠点としても注目されています。これにより、観光のみならずビジネス需要の拡大も見込まれています。

ご清聴ありがとうございました。

【洋上風力発電に関する山形県ホームページ】

ホーム > くらし・環境 > 環境・リサイクル > エネルギー >

・地域協調型洋上風力発電研究・検討会議について



・再エネ海域利用法に基づく協議会について（遊佐町沖）



・洋上風力発電事業に寄せられた公開質問状等と県の回答

